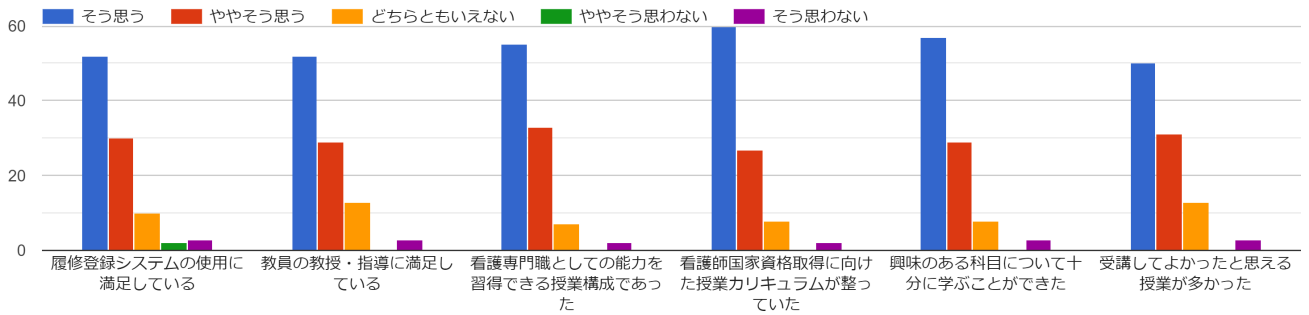


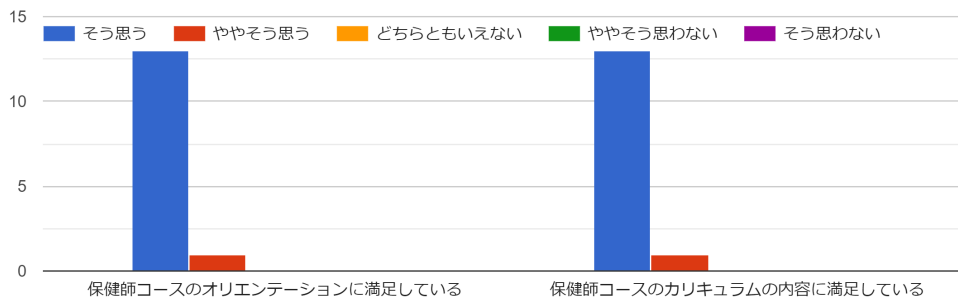
# 2023年度 卒業時満足度調査 回答結果

- 実施期間：2024年2月
- 実施方法：Web調査
- 対象者：看護学部4年生
- 回答数：97件（回収率97%）（男性8.2%、女性91.8%）

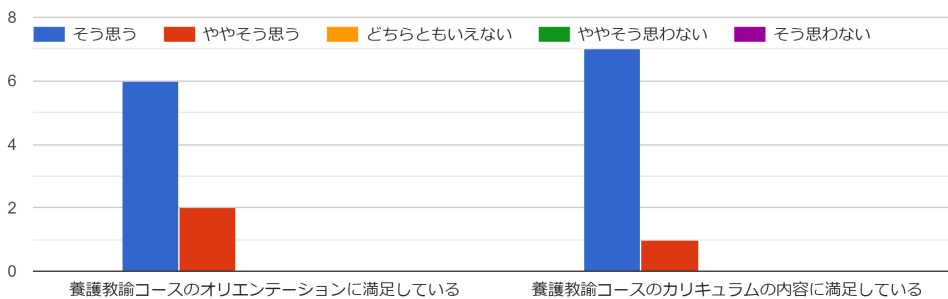
## ◆ カリキュラムについて



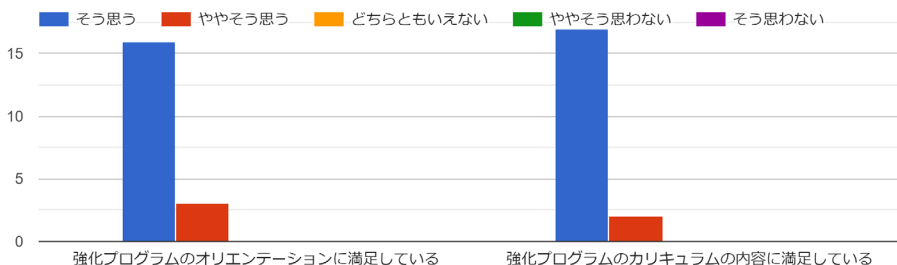
## ◆ 「保健師コース」を選択した学生のみ答えてください。



## ◆ 「養護教諭」を選択した学生のみ答えてください。



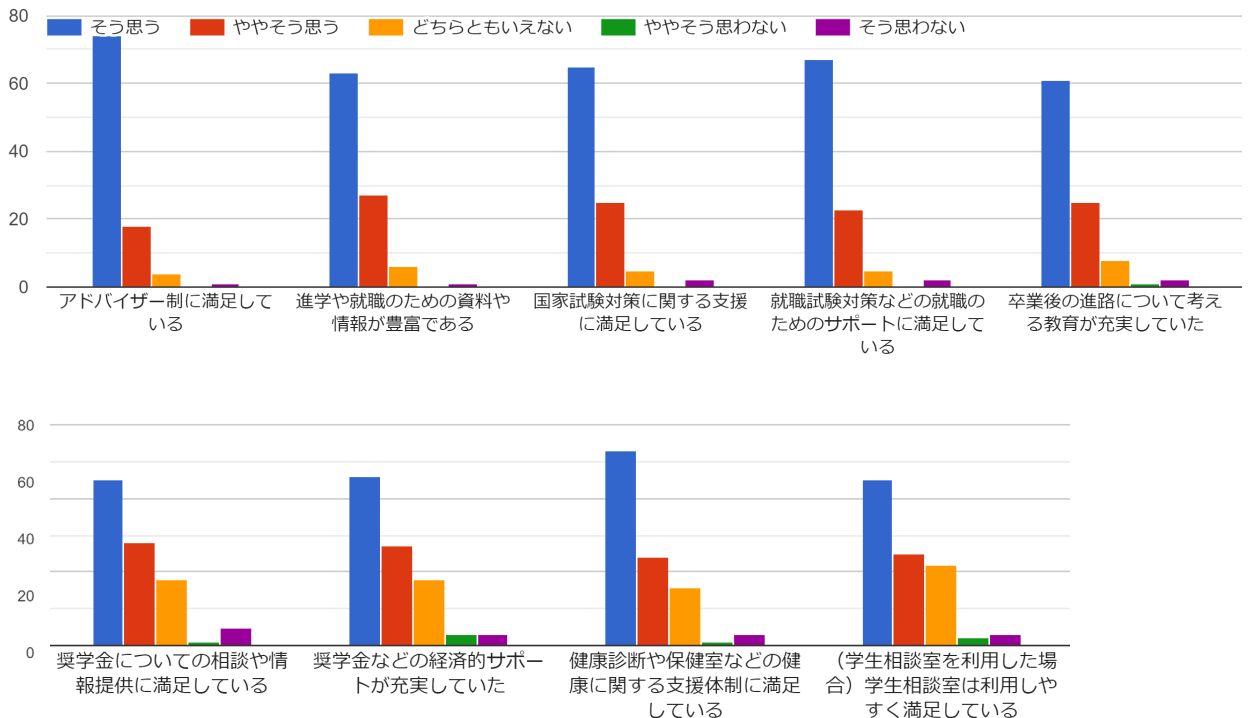
## ◆ 「強化プログラム」を選択した学生のみ答えてください。



◆ カリキュラムに関して良かった点や課題と思うこと、あるいは要望など、具体的な意見をお聞かせください。

- ・ 先生のサポートが手厚くてよかった
- ・ 今までに受けた内容の復習をしつつ、+αの内容を学ぶことが出来て良かった。
- ・ 特にないです。
- ・ 国試対策が多くてよかった
- ・ 小テストが毎回あって復習できたのが良かった。

◆ 学生の支援体制について



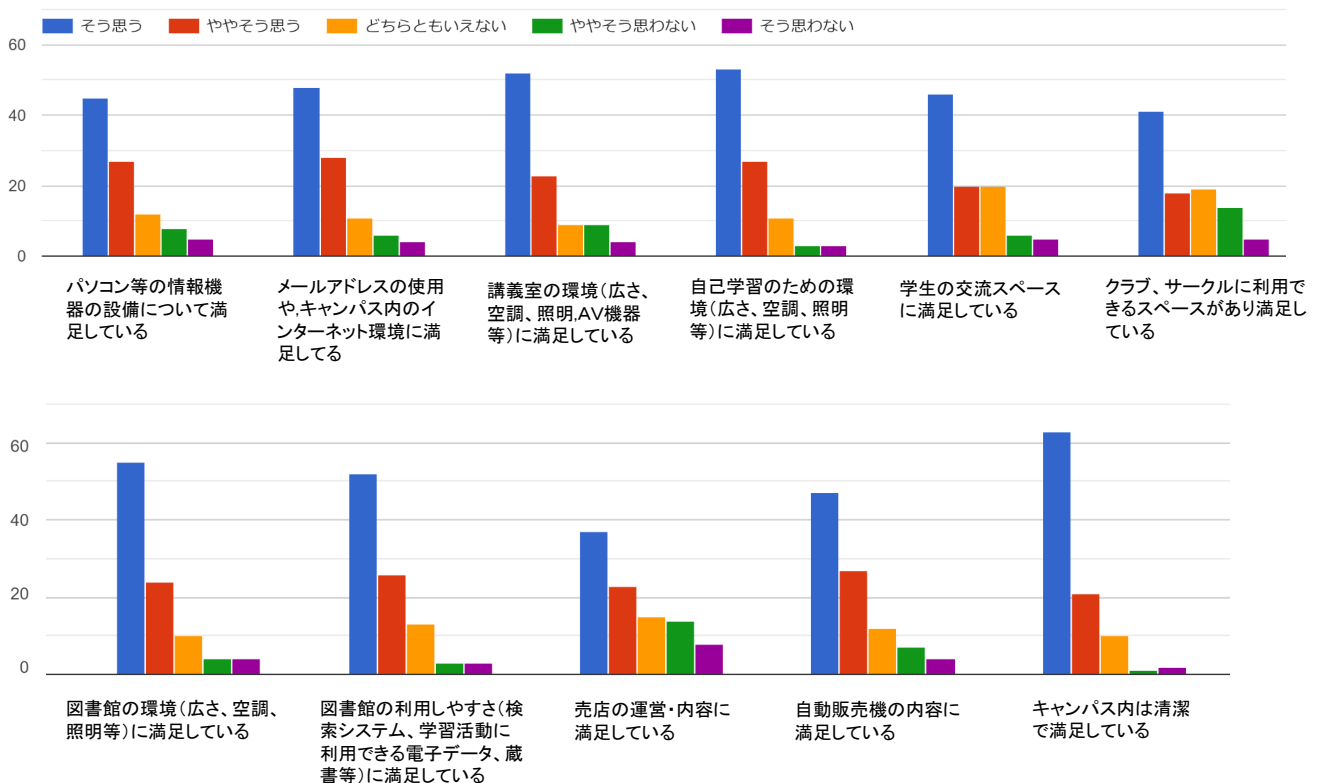
◆ 学生相談室を使用したことがある：

はい：13.4%、いいえ：86.6%

◆ 学生の支援体制について、良かったと思うことや課題、あるいは要望など具体的なご意見をお聞かせください。

- ・ とても親身に相談に乗っていただけました。
- ・ アドバイザー制度など個人的に相談出来る人がいて良かった。
- ・ 就職活動のアドバイスをもらえた。
- ・ 国試対策の支援が充実していた。試験後はこれだけ念入りにやってもらえて良かったと思えた。
- ・ 突然訪問しても優しく迎え入れてうえに相談にも乗っていただけただけなのは良かったです。

## ◆ 大学の設備について



## ◆ 大学の設備について、良かった点や課題と思うこと、あるいは要望などを具体的にお聞かせください。

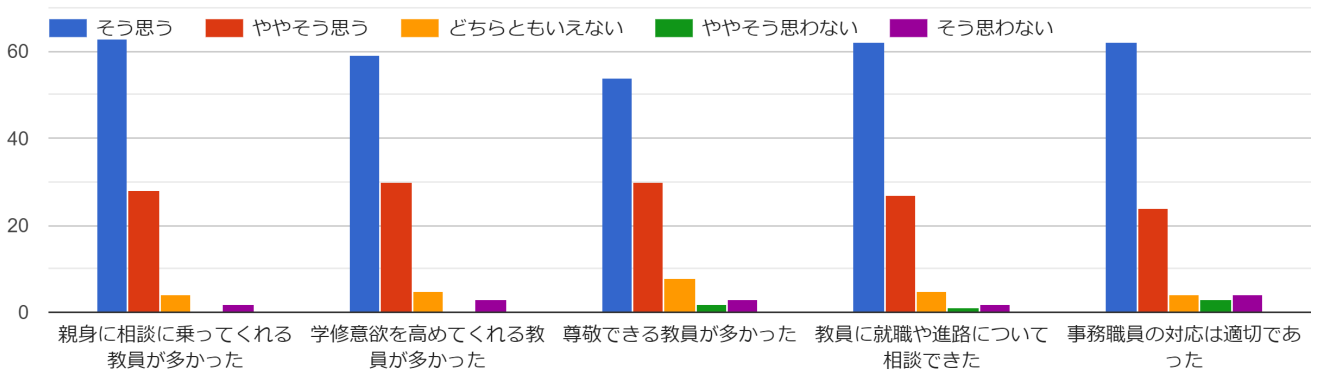
## 【良かった点】

- 大学内はいつも清潔で気持ちよく利用出来ました。
- トイレが綺麗。
- どんどん設備が良くなって行った。

## 【課題・要望】

- 1階、7階、8階でもWi-Fiが使えるようにしてほしい。
- Paypayが使えるようになって欲しいかったです。
- 購買での購入品をセルフサービスなど無人での提供、購買での購入できる時期を、登校できる日は可能にして欲しいです。
- 売店でコンビニの様なボタンを押して買えるコーヒーを置いて欲しい。
- 4階にあるレンジをふたつにして欲しい。
- ナプキンを設置して欲しかった。
- 売店の品数を増やして欲しい。売店がお昼の時間内しか空いていないため、空きコマの時間や自己学習中に買いたいと思っても買えないのが困る。
- 売店がやっている時間が限定的すぎる。授業の空きコマに利用したくても利用できなかった。
- 図書室で勉強していると、司書さんがずっと話していることがあって気が散って勉強しづらかった。
- どれだけ防寒しても図書室が寒くて国試の勉強に集中できない時があった。
- 学費を大まかに事前に提示して欲しい。

## ◆ 教職員について



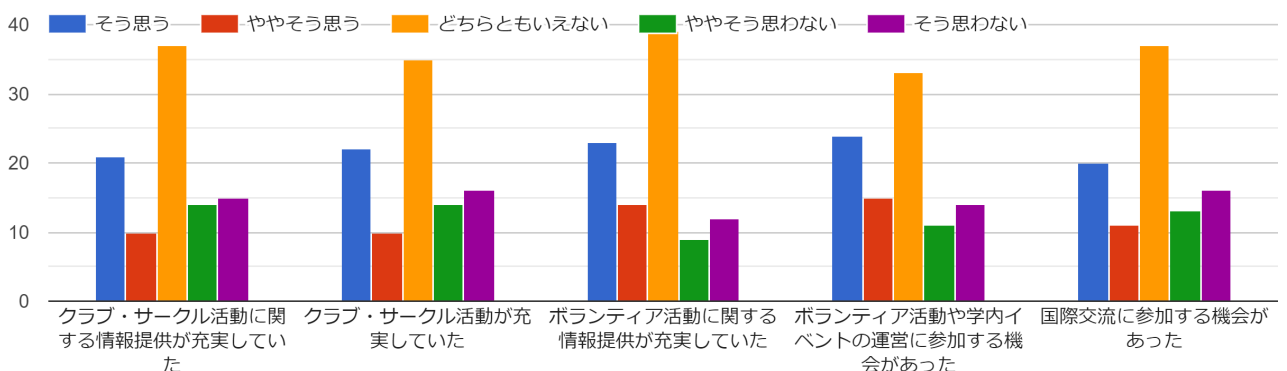
## ◆ 教職員に関して、良かった点や課題と思うこと、要望など、具体的にお聞かせください。

- 学生に寄り添ってくださる方が多く心のサポートとなり助かりました。
- 親身に相談に乗って下さりよかった。
- アドバイザーが相談に乗ってくれた。
- 優しい先生が多かった。実習教員の实習に対する熱意の差が大きかった。アドバイザーは就職や卒論、国試について親身なってくれた。
- 私自身が留年していたのもあると考えるが、関わりの少なかった先生にも最近調子はどうかと声をかけてもらい、生徒のことを覚えているのだなと思った。声をかけてもらえたことに関してはとても緊張した。
- 相談に乗ってくれた。
- いろんな先生が相談に乗ってくれてほんとに助かりました。
- 事務の仕事が遅い。
- 事務の人が少し上から目線で怖いです。

## ◆ あなたはクラブ・サークル、ボランティアなどの課外活動に参加しましたか

はい：17.5%、いいえ：82.5%

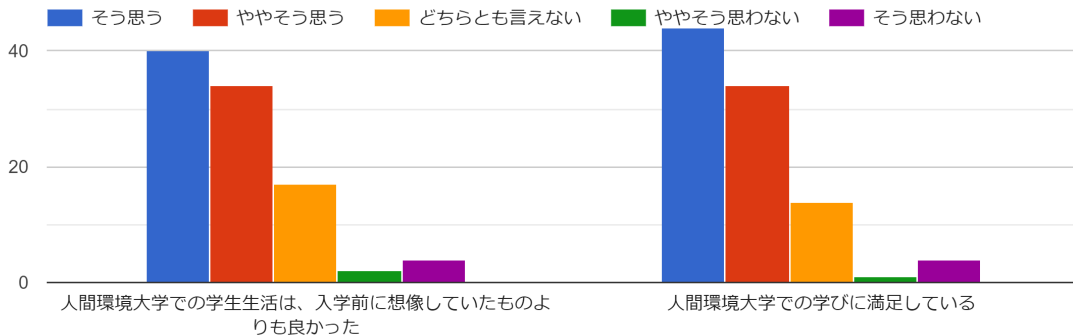
## ◆ クラブ・サークル、ボランティア等の課外活動について



◆ クラブ・サークル活動に関して、良かった点や課題と思うこと、要望など具体的にお聞かせください。

- ・ 軽音楽最高でした。
- ・ コロナで参加出来なかった。
- ・ サークルなどの情報がラウンジにあってわかりやすかった。
- ・ もともとサークルに所属している時間がなかった。
- ・ 特にない。
- ・ あんまり参加する機会がなかった。

◆ 総合的な満足度



◆ COVID-19の流行により、大学生活は対面の授業が制限されました。授業では、どの様なことが大変でしたか？また、どの様なことに配慮してほしいですか？

【授業に関すること】

- ・ 家で講義を受けていると電波が悪く講義内容が聞き取れなかったりすることがありました。
- ・ 対面の方が授業内容は頭に入ってきやすかった。パソコンが急に用意できないことや、接続が悪い時などが特に困る。
- ・ 回線の調子が悪いと画面が固まったりしていたこと。
- ・ 対面授業と比べ、分からないことがあった際にすぐに質問することができないことや、回線不良などで一部内容が聞き取れないということがあり大変でした。しかし、録画の徹底や授業中、授業後に質問の時間を設けてくださる教員もいたので、そこはありがたかったです。
- ・ ネット環境が悪く、一時的に授業を退席してしまっている間に、欠席扱いになってしまうことがあったため何かしらの配慮が欲しかった。
- ・ リモートで質問することは勇気なくてできませんでした。実技の練習がしづらい
- ・ 突然の授業変更、対面授業が少なかったから授業内容の理解が大変だった
- ・ 遠隔授業だと集中することが難しかった。解剖学や疾病などネット上でだと想像できにくく苦手分野になってしまった
- ・ 解剖整理など大切な教科は対面で受けたかったです。
- ・ オンラインになれることが大変だった。リモートはもうしたくない
- ・ オンラインにて十分な学習ができたと思います。
- ・ もっとオンライン授業をして欲しかった。
- ・ 学校が遠かったから、オンラインで助かりました。
- ・ 対面の方がより気を引き締めて授業に参加出来たと思う。
- ・ 教室が狭く、感染の危険があるのではないかと心配しながら講義を受けている時があった。

【その他】

- ・ 制限制限ばかりで圧を感じた。
- ・ 大学生らしい大学生活を送ることができなかったと思う。
- ・ 友達と話すのに配慮が必要なのが大変だった
- ・ 家での授業で大学へ行くことがほとんどなかったのに、学費が一切コロナ前と変わらなくて、不思議に感じた。
- ・ 健康診断時に学籍番号の近い友人と連絡を交換していなければ、相談できる相手もいないまま履修登録すら出来ていなかったと思います。
- ・ アルバイト禁止について配慮して欲しかったです。
- ・ 生徒・先生含めて名前と顔が覚えられなかった。
- ・ 特に大変なことは無かった。

◆ COVID-19の流行により、実習への影響も出ました。実習では、どの様なことが大変でしたか？  
また、どの様なことに配慮してほしかったですか？

- 感染対策、体調管理。
- コロナにかからないように配慮すること
- 途中でコロナ感染の学生や患者さんが出てしまったときに、実習が中断になり、全日数実習を行えなかったこと。
- グループ内や同じ時期に一緒に実習をしていた人の中でコロナが出た時に実習が中止になってしまったことが大変だった。
- 兄弟がコロナに感染すると実習が中断してしまうため、実習中の体調管理が大変でした。
- 実習では感染拡大で病院側から実習を断られ、延期になることはありましたが、学年が変わる前に日程を調整して頂いたり、大学側からマスクや手指消毒アルコールを貸して頂いて、コロナ禍でも実習に取り組むことができたことは感謝しています。
- 実習ではコロナに罹患した患者さんと接したことでPCRを受けてから行ったり、毎朝病院で検査をしたりと大変だった。私自身は感染対策もしてたが、結局病院で濃厚接触者になり、追加でPCRを買いに行ったりと手間が増えた上にバイトも禁止で、その後のPCR代は自己負担なのかとは思った。先生はできることをしてくれたと感じるし、全体的には学ぶことも多かったのが良かった。
- 患者さんや家族がコロナもしくは濃厚接触者になった場合の検査費用等が自己負担であり、かなり予想外の出費が重なった。また、患者さんが変わったり、家族が濃厚接触者になったため隔離になった影響で一人で病棟実習をすることになったり、とかなり過酷な実習だった。コロナにとっても振り回されてその思い出しかない。
- 必要以上にPPTの着用や受け持ち患者さんとのコミュニケーション制限によりうまく関わることができなかつたと感じました
- 患者さんの部屋にいる時間を制限されたこともあったので、情報収集するのが大変なことがありました。
- 病院ごとに対応や対策が違い、自分たちがどこまで援助をやっていいか分かりにくかった。
- 患者さんに関わる時間が減ってしまったり、ケアの提供が制限されてしまい、大変でした。
- 患者さんとの関わる時間が少なかった
- 病院側からの中止で実習のスケジュールが変更になったことや、家族の面会がなかったので患者周囲の人間関係や周囲の人の思いが分かりにくかった
- フェイスシールドを付けなければなかったので、患者さんや看護師との会話が聞こえなかったりと大変でした。
- 知識がないまま行っただけで怖かった
- メンタル維持
- 先生などに相談をしたかったがあまりできる雰囲気ではなかったのが辛かった
- 患者さんがコロナになると自分も罹患してるんじゃないかと心配になった。
- コロナの制限があることで、本来ならできたことができなかった点は残念だとは思いますが、その中でも沢山のことを学ぶことができたのでよかったですと思います。
- グループ内の協力・基礎看護の不足。演習練習時間があまり確保できなかった
- 自分の学力で実習に追いつけるか心配でしたが、先生方に良く見ていただいたのでよかったです。
- セルフトレーニングの機会がもっと欲しかったです。
- セルフトレーニングがなかなか回数できなかったのが少し不安になりました。
- セルフトレーニングが思ったように、出来なかったので技術面で不安が大きいです。
- 制限されることなど多いのが大変だった。
- 全ての領域に行くことができて満足している。
- 感染対策を行った上で充実した実習が出来たと思います。
- コロナになってしまいましたが、そんなに影響はありませんでした。
- あまり大変だと感じなかった

◆ COVID-19の流行により、クラブ・サークル活動も制限がありました。クラブ・サークルでは、どの様なことが大変でしたか？また、どの様なことに配慮してほしいですか？

- クラブ・サークルには参加していないが、クラブ・サークルの数を増やして「参加してみようかな」と思える環境を作ることで、大学生活がより楽しく濃厚なものになると思います
- 特に大変なことはなかった。
- 学祭の運営が思い通りに進まなかった
- 情報配信
- 教員による助言
- 参加する時間がなかった。
- 充実度
- 分からない

◆ 今後の人間環境大学看護学部への要望など自由に書いて下さい。

- 可能な範囲で売店の品ぞろえを増やして欲しいと思いました。
- 疾病治療論の授業を国試に向けたものにしてほしい。テストの内容が小児が主なので成人を増やしてほしい。
- クラブとかももっと参加を呼びかける活動がないため、はいらないなと思いました。パソコン室のパソコンがもう少し動けると良いと思います。
- 売店をもうすこし長い時間開けてあげてください。
- 売店を充実させて欲しい。
- 学費が高い。
- 特にないです。

【調査結果を受けて】

カリキュラム（履修登録システム、教員の指導・教授、専門職としての能力を習得するための授業構成等）、教職員の対応について、いずれの設問においても「そう思う」「ややそう思う」との回答した学生が8割を超えた。保健師コース、養護教諭コース、強化プログラムを選択した学生においても、各設問に対し、全員の学生が「そう思う」「ややそう思う」との回答し、高い満足度が示されたと考える。

支援体制（アドバイザー制度、進路・就職対策、国家試験対策等）についても、教職員による親身なサポートを得られたことが伺えた。

設問項目のうち、奨学金制度の情報提供については他の設問項目に比べ低い満足度であった。COVID-19拡大により経済的影響を受けた学生もいることが考えられ、奨学金の情報提供のあり方については、今後改善の余地がある。

大学の設備については、売店の開業時間が限定されていることを踏まえ、施設設備の充実に努めていく。

今回、調査に回答した学生は、入学時からCOVID-19の影響を受けた学年であり、オンライン授業による授業参加や授業内容の理解、実習における感染対策やケアへの参加に困難を感じたとの意見が多数寄せられた。今年度から、COVID-19が5類に移行し、全授業において対面実施となっているが、今回の調査結果を今後、パンデミックのような緊急事態が生じた際の学生の教育・生活支援に活かしていく。